

地域包括ケアシステムとの協働のための研修会について

1 令和7年度 研修会(案)

- 【 テーマ 】 心不全増悪予防のための服薬管理について
- 【 対象者 】 地域のメディカルスタッフ
- ・訪問看護ステーションや介護老人保健施設等に勤務する看護師、リハビリスタッフ等
 - ・薬局等に勤務する薬剤師
- 【 内容 】 ・講演(心不全の症状や増悪の兆候、薬物療法及び服薬管理の重要性について)
- ・パネルディスカッション

(参考)令和6年度 研修会について

(1)内容等について・・詳細は資料3-②参照

- 【 テーマ 】 心不全増悪に日頃の体重管理で気付ける！～早期介入のために訪問診療において必要なコト～
- 【 日時 】 令和6年11月1日(金)16:00～17:30
- 【 場所 】 九州医療センター 外来棟4階 研修室
- 【 対象者 】 訪問看護ステーションや介護老人保健施設等に勤務する看護師、リハビリスタッフ等
- 【 開催方法 】 会場、Web(ハイブリッド方式)
- 【 申込者数 】 150名

(2)アンケート結果について・・詳細は資料3-③参照

【今後の研修会で聞いてみたい内容】

- ・施設における心不全療養について
- ・食事に関すること(コンビニ食ならこれを食べても良いなど取り組めることを教えてほしい)

2 委員意見

所属・委員名	協働のための課題や取り上げてほしいテーマ等
久留米大学医学部 脳神経外科 森岡委員	脳卒中関連のテーマとして、 ①抗血栓薬(血液サラサラ薬)の種類とその投与方法 ②けいれん発作について一発作が起こっても慌てない。起こさせないようにするには？
福岡県薬剤師会 後藤委員	心不全で再入院する患者は、薬を飲み忘れることがよくあります(飲むのを忘れるだけでなく、飲めなかったり、あえて飲まなかったりする場合もあります)。また、以下の要因が服薬アドヒアランスの低下に影響を与えていると考えられます。 ・新しい薬が追加されること ・処方が頻繁に変更されること ・ポリファーマシー(多剤併用) そのため、退院後も薬剤師が継続的にフォローアップを行い、患者が適切に薬を飲み続けられるよう支援することが重要です。このようなフォローアップが増えることで、心不全による再入院を防ぐことが期待されています。
福岡県理学療法士会 山内委員	・高次脳機能障がいによる日常生活への影響及び自立支援について ・循環器病再発予防における活動量の重要性について ・重複疾患によるフレイルとの相互関係について(身体的フレイル、認知的フレイル、社会的フレイルの脱却について) ・リハビリテーション・栄養・口腔の三位一体の取組を急性期から生活期までシームレスに連携する方法について
全国心臓病の子どもを守る会 福岡県支部 山口委員	成人した先天性心疾患患者が増加している現状を踏まえ、一般の医療機関と先天性心疾患専門医が常駐している医療機関との連携が速やかにとれる体制が整っていれば、患者としては心強いです。 また、体感的に看護師が先天性心疾患の概念を把握していないことが多いと見受けられるため、主に以下の点について知識として身につけられる場があればと思います。 ・症状 ・主な常備薬 ・根治手術法